

博士課程教育リーディングプログラム
平成23年度採択プログラム事後評価
修了者アンケート調査(案)

- この調査は、博士課程教育リーディングプログラムの平成23年度採択プログラムに対する事後評価の一環として、各大学の御協力により、文部科学省の指導の下で独立行政法人日本学術振興会が××株式会社に委託して実施するものです。
- プログラムに参加~~する~~**されている**皆さんに御意見をうかがい、各プログラムの評価・改善に役立てると同時に、文部科学省~~の~~**による新たな**施策の検討の参考とします。
- 回答内容は全て統計的に処理されるとともに、回答者個人についての情報が他の目的で使われることはありません。また、調査結果については、プログラムの改善に資するため、回答者個人が特定されないよう、固有名詞の削除や複数の類似意見の統合等の処理を行った上で、当該大学に対して情報提供するほか、集計結果を公表することがあります。

- X月X日(X)までに次のウェブサイトから御回答ください。→ <https://XX>
- 本アンケートに関するお問い合わせ先
XX 株式会社 担当者:XX Email:

参加されているる**たプログラムと、御自身についてうかがいます**

問1 参加している**る**た大学・プログラム名について、以下に表示されている内容を確認してください。

IDにより大学名・プログラム名を表示

問2 年齢、性別について選択してください。

年齢	1. 24歳以下	2. 25～29歳	3. 30歳代	4. 40歳代以上
性別	1. 女性	2. 男性		

問3 プログラムとの関係について選択してください。

プログラム参加開始年度	1. 2011(平成23)年度	2. 2012(平成24)年度	3. 2013(平成25)年度	4. 2014(平成26)年度	5. 2015(平成27)年度
	6. 2016(平成28)年度	7. 2017(平成29)年度			

プログラム修了年度	1. 2012(平成24)年度	2. 2013(平成25)年度	3. 2014(平成26)年度	4. 2015(平成27)年度	5. 2016(平成28)年度
-----------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

現在の学年	1- 大学院1年次 (M1)	2- 大学院2年次 (M2)	3- 大学院3年次 (D1)	4- 大学院4年次 (D2)	5- 大学院5年次 (D3)
	6- 大学院6年次 以上	7- 医歯薬学又は 獣医学系	8- 医歯薬学又は 獣医学系	9- 医歯薬学又は 獣医学系	10- 医歯薬学又は 獣医学系

		1年次	2年次	3年次	4年次以上
--	--	-----	-----	-----	-------

プログラム参加時期	1. 大学院入学と 同時に参加	2. 大学院入学後 1年以内に 参加	3. 大学院入学後 2年目以降に 参加
-----------	-----------------------	-----------------------------	------------------------------

学位論文執筆を予定している分野	1. 総合系 (情報学、環境 学、複合領域)	2. 人文社会系 (総合人文、社 会、人文学、社 会科学)	3. 理工系 (総合理工、数 物系科学、化 学、工学)	4. 生物系 (総合生物、生 物学、農学・獣 医学、医歯薬 系)	5. ほか
-----------------	---------------------------------	---	---	---	----------

↓

具体的に記入してください。

問4 プログラム参加時の経歴についてあてはまるもの全てを選択してください。

1	プログラムを実施する大学を卒業	5	社会人を経験後、プログラムに参加
2	留学生	6	プログラム参加中現在も在職中していた
3	他の大学の学部を卒業(国立高専専攻科修了後学士を取得した場合を含む)後、プログラムに参加	7	プログラム参加中在職中だが、は休職していた中
4	他の大学院を経験後、プログラムに参加		

問5 指導教員(専門分野における研究指導を主に行う教員1名)とプログラムとの関係について選択してください。

1	指導教員がいた — その指導教員がプログラムにも参画していた
2	指導教員がいた — その指導教員はプログラムには参画していなかった
3	それ以外

↓

具体的に記入してください。

問6 このプログラムに参加しようと思った動機として、当てはまるもの全てにチェックしてください。は何ですか。また、その中で最も直接的な動機に近いもの1つに○をしてください。そのうちの最も強い動機はどの程度満たされましたか。

プログラム参加の動機		修了してからの評価			
当てはまるもの 全てにチェック 動機	最も近いもの 1つに○ うち、最も強い	期待より 良かった	期待通り だった	期待した ほどでは なかった	全く期待 通りではな かった

	(複数回答可)	動機				
プログラムの目的と自分の目指す将来像が合っている						
産業界、官界、NPO、国際機関への就職など自分の将来の可能性が広がる						
通常の博士課程では得られない、幅広い知識や経験が得られる						
他の研究科(専攻)の学生や教員、留学生など、交流の幅が広がる						
留学や海外インターンシップなど、海外での経験が積める						
グローバルな舞台で活躍していくために Ph.D.が必要						
経済的な支援が充実している						
何となく面白そうだった						
友人・知人や研究室の先輩など、教員以外の人にプログラムを勧められた						
指導教員などの教員に勧められた(自分の意志で参加)						
指導教員などの教員に勧められた(断ることができなかった)						
何となく面白そうだった						

その他の理由がある場合や、上記を選択した理由などについて自由に記述してください。

問6-2 ~~このプログラムがなかった場合、あなたの最終学位としてどれを選択していましたか。~~

1	学生(今所属する大学と同じ)
2	学生(他大学)
3	修士(今所属する大学と同じ研究科・専攻等)
4	修士(今所属する大学の別の研究科または専攻等)

5	修士(他大学)
6	博士(今所属する大学と同じ研究科・専攻等)
7	博士(今所属する大学の別の研究科または専攻等)
8	博士(他大学)

問7 プログラムの以下の点をどのように評価しますか。

	非常に良い	良い	どちらとも言えない	良いとは言えない	機会がなかった
他の専門分野の学生との交流					
他大学の学生との交流					
専門分野以外の教員との出会い					
企業人との交流					
専門分野以外の幅広い知識や経験					
奨励金や授業料の補助等大学からの経済的支援					
議論することに対する自信をつけること					
アカデミア以外の分野で活躍する自信をつけること					
語学力向上のためのカリキュラム					
インターンシップの機会					

プログラムでの実施状況等についてうかがいます

問8 このプログラムで以下の指導をどの程度受けましたか。また、受けた場合、それは有効ですしたか。

	受けた頻度			有効か			
	よく受けた	ある程度受けた	受けていない	有効	ある程度有効	あまり有効ではな <u>い</u> か <u>っ</u> た	有効ではな <u>い</u> か <u>っ</u> た
指導教員以外の教員からの指導							
企業、政府機関等の学外者からの指導・助言							
主専攻以外の分野の授業等の履修							
研究室ローテーション ※ 名称は問わない(他研究室に一定期間滞在する等、異分野の専門的知識を身に着ける機会を指す。)							
プロジェクト形式による授業や課題							
授業外のサポート(メンター等)							
産業界、官界、NPO、国際機関等、教育研究機関以外へのキャリアパス具体化のための情報提供 例：産学共同研究、産業界等の講師を招いたセミナー 等							

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問9A. このプログラムにおいて、以下のことは整備、~~経験して~~されていますか。また、それは有効で
~~したに機能して~~いますか。(それぞれ該当する回答をクリック整備されていなかった場合は「該当なし」を選
 択し、設問「有効であったか」への回答は不要です。)

	整備されている				有効であったか (「該当なし」を選択した場合は回答不要)			
	十分に されている	ある程度 されている	不十分	該当なし	有効	ある程度有効	あまり有効 ではな かった	有効ではな かった
奨励金や授業料の補助等大学からの金銭的支援								
異分野の学生間で切磋琢磨できる環境 例：学生が交流するスペース、合同のセミナー等								
外国人、職業人等、通常の大学院では接触しにくい人との交流の機会								
学生のみでプロジェクト等を企画・運営する機会								

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問9B. このプログラムによって、以下のことを経験しましたか。また、経験した場合それは有効でしたか。
 (プログラムのカリキュラムに以下の制度・取組がなかった場合は「~~修子まで参加の予定はない~~参加しなかった」を~~手~~チェックして選択してください。)

	参加の有無			有効であったか (「参加した」を選択した場合のみ回答)			
	参加した	これから参加	修子まで参加の予定はない 参加しなかった	有効	ある程度有効	あまり有効ではな い かった	有効ではな い かった
①国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)							
②国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)							
③国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ以外の国内での学外活動 ※1							
※1 「参加した」 、「これから参加」 と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。							
(自動集計)①～③の実人数合計							

④海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)							
⑤海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)							
⑥本プログラムの中での留学(3月未満)							
⑦本プログラムの中での留学(3月以上1年未満)							
⑧本プログラムの中での留学(1年以上)							
⑨海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ及び留学以外の国外での学外活動 ※2							
※2 「参加した」 、「これから参加」 と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。							
(自動集計)④～⑨の実人数合計							

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

--

問10 このプログラムに参加することによって、以下の能力は身に着いたと思いますかどう変化しましたか。

	参加前			修了後		
	あった	ある程度あった	なかった	向上した	ある程度向上した	変化なし
高度な専門的知識・研究能力						
高い国際性						
専門以外の分野の幅広い知識						
物事を俯瞰し本質を見抜く力						
自ら課題を発見し解決に挑む力						
独創的な能力						
チームのマネージメント力						
企画立案、関係者との調整、統率する能力						
他者と協働する力						
ディスカッション能力						
プレゼンテーション能力						
語学力						
その他(具体的に:)						

問11 以下の点についてどう考えますか。

	非常に そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
プログラムに参加する教員の間でプログラムについての理解が共有されてい る た				
一部の教員に負担が集中してい る た				
指導教員や研究室スタッフを含め、プログラムに参加していない教員等はプログラムの目的を理解し、プログラムに参加することに協力的であ る った				
学術研究だけではなく、企業や政府、国際機関等で活躍する人材を育成する可能性が大きい				

所属研究室での指導とこのプログラムでの指導が二重の負担になっていた				
このプログラムによって自身の研究に新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)				
このプログラムによって自身の進路選択に関して新たな示唆・知見が得られた				
所属研究室において自分の専門的な研究を進めて、業績をあげられるか不安がある				
修了後の進路に不安がある				
後輩にもこのプログラムを勧めたい ※				
※ 「そう思わない」あるいは「全くそう思わない」と回答した場合、その理由を記述してください。				

~~問12 以下の点についてどう考えますか。~~

	非常に そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
このプログラムによって自身の研究に新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)				
所属研究室での指導と、このプログラムでの指導が二重の負担になっている				
所属研究室において、自分の専門的な研究を進めて業績を上げられるか不安がある				
修了後の進路に不安がある				

御自身の今後とプログラムによる成果等についてうかがいます

~~問1312 修了後の進路についてどのような希望をもっていますか。プログラム修了後どのような職等に就きましたか。また、今後の希望は持っていますか。~~

	大学院入学時の希望 (複数回答可。 社会人学生は、 入学時の職業を 選択)	現在の希望プログラム修了時の状況 (複数回答可) (社会人学生は、修了時の状況あるいは転職先として該当するものを選択)	平成 29 年 4 月 1 日 現在の状況	既に進路が決定している今後の希望 (希望ではなく、決定している場合1つだけ○希望のある場合のみ。 複数回答可)
民間企業に就職(研究者以外として)				
民間企業に就職(研究者として)				
官公庁に就職				

国際機関に就職				
NPO・NGO等(公共的サービスの提供主体)に就職				
医師、弁護士等専門職				
起業				
大学(海外を含む)に研究者として就職				
その他公的研究機関(海外を含む)に研究者として就職				
求職中				
ポスドク(博士研究員)				
決めていない				
その他(具体的に:)				

~~修了後の就職について、差し支えない範囲で記入してください。~~修了後に就職した場合、就職先、就職時期、就業形態、求職の方法(指導教員等による紹介、博士課程教育リーディングフォーラム等イベントでの人事担当者とのマッチング等)等を出来る限り具体的に記入してください。

問13 居住国について選択してください。また、今後の希望は持っていますか。

	現在	今後の希望 (複数回答可)
日本		
日本あるいは母国以外の外国		
母国に帰国		
未定		

問14 プログラムへの参加によって、人生観、職業観、世界観、国際意識等がどのように変わったか、また、**修了後の活動や進路にどのような影響を及ぼしたか**を自由に記述してください。

個人が特定されない処理をした上で、 参加していた プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

問15 産学官民(※)にわたりグローバルに活躍するリーダーとなるため、**所属するプログラムにおいてプログラム修了後**主体的に行った活動及びその成果について自由に記述してください。(※「民」とは、NGO、NPO 等公共的サービスの提供主体を指す。)

個人が特定されない処理をした上で、 参加していた プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

全般的な御意見をうかがいます

問16 **参加する**していたプログラムについて、自身の将来にどう役立つ**と思っ**か、**今後どのように役立つ**と考えるか、また、**これからプログラムに参加する学生のために、プログラムがどのように改善すればよい**と考えるか、感想、意見を自由に記述してください。(以下①～③のうち1つでも構いません。)

① <プログラムが役立つ て いる点・良い点>
個人が特定されない処理をした上で、 参加していた プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）
② <改善を要する点(負担を感じた点 など)>
個人が特定されない処理をした上で、 参加していた プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）
③ <その他>

個人が特定されない処理をした上で、~~参加していた~~プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（はい・いいえ）

~~(参考情報)よろしければご協力ください~~

~~問17 あなたはこのプログラムをどのようにして知りましたか(任意回答・あてはまるもの全てに○)~~

1	参加プログラムのホームページ	8	プログラム担当者の教員
2	文部科学省のホームページ	9	プログラム担当者以外の教員
3	日本学術振興会のホームページ	10	学内の友人・知人
4	参加プログラムのリーフレット等	11	学外の友人・知人
5	大学で行われた説明会・シンポジウム等	12	Facebook等のSNS
6	大学以外の場所で行われた説明会・シンポジウム等	13	その他(具体的に:)
7	新聞、雑誌等の公告		

アンケートは以上で終了です。御協力ありがとうございました。